

● 第二部



推進プラン



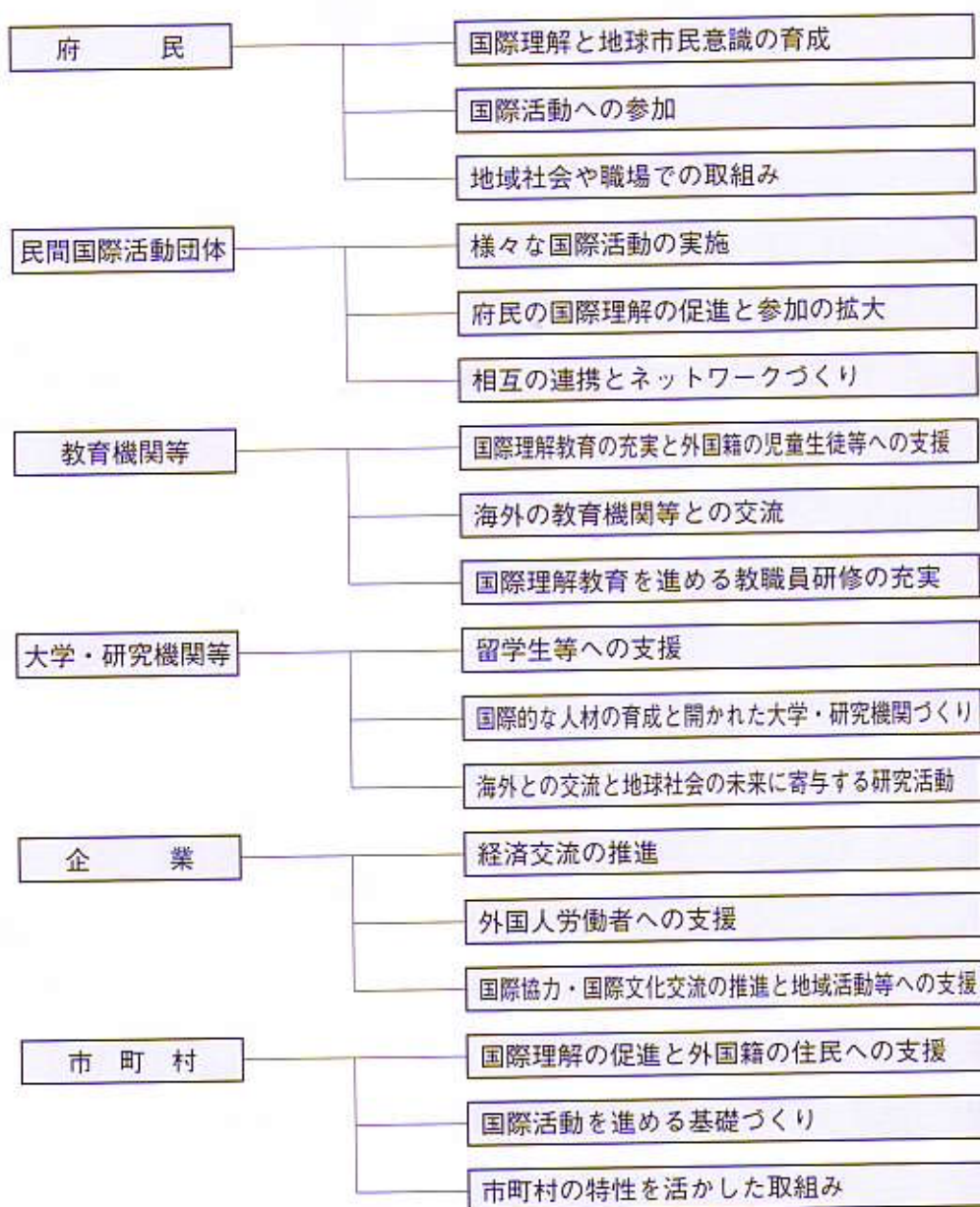
# 第一章

## 各活動主体の取組み

第1部で示した京都府の国際化についての目標を実現していくためには、地域社会の担い手であり、また今日、国際活動の主体として地域の国際化に大きな役割を果たしている府民、民間国際活動団体、教育機関、大学・研究機関、企業、市町村などが、それぞれの役割と特性を活かした積極的な取組みを進めていくことが大切です。

本章では、京都府とともに地域の国際化を進める各活動主体に期待される具体的な取組みについて述べています。

### ●各活動主体に期待される取組み



## 第1節 府民に期待される取組み

国際活動の最も基本的な主体は府民であり、世界の人々との交流や国際協力に参加することは、自分自身を豊かにするとともに、地球社会の平和と発展に貢献していくことにもつながります。また、京都府に暮らす外国籍府民を共に生きる住民として受け入れ、開かれた地域社会を築いていくためには、その担い手である府民一人ひとりの協力が不可欠です。

こうしたことから、府民一人ひとりが、世界の様々な文化や国際的な問題について理解を深め、異なる国籍や文化を持つ人々と共生する地球市民としての意識を育んでいくことが期待されます。また、自らがボランティアや団体の担い手として各種の国際活動に積極的に参加・協力していくとともに、身近な職場や地域社会において外国籍府民への支援の輪を広げていくことが期待されます。

シンポジウムや講演会、交流会、講座等に参加し、海外の文化や言葉、開発途上国や外国籍府民の問題などについて理解を深めるとともに、京都や日本の文化、歴史などについてもよく知り、自己や自国への認識を深めていくことが大切です。

そして、異なる国籍や文化を持つ人々を相互に尊重し、共に平和に暮らし、繁栄していく地球市民意識を育んでいくことが期待されます。

ホームステイ、留学生支援、日本語指導・相談等による外国籍府民への支援など、身近なところでボランティアとして活動するとともに、海外での国際協力活動にも積極的に参加・協力していくことが期待されます。

更に、民間国際活動団体の活動や運営に参画したり、自ら国際活動を企画・実施していくことが期待されます。

地域社会や職場において、外国籍府民を支援する輪を広げ、日常生活をおくる上での情報の提供や相談、様々な行事・活動への参加の呼びかけなど、身近な取組みを進めていくことが期待されます。

### 1 国際理解と地球市民意識の育成

### 2 国際活動への参加

### 3 地域社会や職場での取組み

## 第2節 民間国際活動団体に期待される取組み

民間国際活動団体は、外国籍府民への支援、海外との交流や国際協力、災害や難民の援助、地球環境の保全、人権の保護など様々な国際活動を実施しており、多くの人材や情報、ノウハウなどが集まっています。

こうした民間国際活動団体には、それぞれの目的に応じた活動をより積極的に展開していくことが期待されます。また、その豊富な経験を活かして、より多くの府民が国際理解を深め、国際活動に参加できる機会を提供していくとともに、国内外の関係団体等とも連携して、幅広い取組みを進めていくことが期待されます。

### 1 様々な国際活動の実施

それぞれの民間国際活動団体の目的に応じて、生活情報の提供・相談・日本語学習など外国籍府民への様々な支援や、府民との交流、京都や日本の文化を知る機会の提供など、幅広い分野でのきめ細かい活動が期待されます。

また、海外の国際活動団体や文化団体等との交流を通じて、京都文化を海外に紹介したり、海外の文化を京都府で紹介したりすることも期待されます。

更に、海外からの研修生の受入れや専門家の派遣、開発途上国への国際協力、災害や難民等への援助などについても大きな役割が期待されます。

### 2 府民の国際理解の促進と参加の拡大

活動で培われた経験や情報の蓄積を活かして、海外の文化や生活、開発途上国や外国籍府民の問題、地球環境問題などについて、府民が理解を深める機会や情報を広く提供していくことが期待されます。

また、府民が海外との交流や国際協力活動にボランティアとして参加・協力できる機会をつくることによって、国際活動に参加する人々の輪を広げ、国際活動を支える人材を育てていくことが期待されます。

### 3 相互の連携とネットワークづくり

京都府内や国内の民間国際活動団体と連携して情報交換や共同事業を行ったり、海外の民間国際活動団体等とのネットワークをつくることなどによって、より幅広い活動を進めていくことが望まれます。